

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

提案書	
技術分野	⑥地下水等の挙動把握
提案件名	福島第一原子力地点における地下水挙動把握のための水理地質構造解析
提案者	東北緑化環境保全株式会社(東北電力企業グループ)
<p>1. 技術等の概要(特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>福島第一原子力地点における地下水は、単純に雨水が地中の表層を流下しているものではなく、阿武隈山系から地下深部の透水層である砂岩(T2層)中を流下した地下水が、福島第一原子力地点において、海水の圧力も受けて浅部不透水層である泥岩(T3層)中の亀裂から湧き出しいる「被圧地下水」である可能性が高い。</p> <p>こういった、<u>水理地質構造の把握</u>が適切でなければ、遮水壁や揚水井戸などの対策工は効果が期待できないものになってしまう。</p> <p>本提案は、福島第一原子力地点における「水理地質構造モデル」を作成し、的確な地下水対策の資料とすることを目的とするものである。</p> <p>水理地質構造を解析するため、電磁探査を含む空中物理探査および地表物理探査、<sup>14</sup>C年代測定、同位体年代測定・濃度測定等のモニタリングを含む地下水・水質調査、検層を含む地質原位置試験を実施するものである。</p>	
<p>2. 備考(以下の点など、可能な範囲で御記入いただきますよう願います)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況(国内外の現場や他産業での実績例、実用化の見込み時期を含む) 各調査は実績あり。</li> <li>・開発実用化に向けた課題・留意点 留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地条件を勘案すると、各調査において適用性に不明なところがあるため、調査の方法を含め、得られたデータをチェック・評価しながら実施する。</li> <li>・これまで数多くの調査が実施されているが、それらは地質・地質構造の調査や地質工学的データの取得に主眼を置かれていることを勘案し、最初に水理地質構造の観点から既往調査資料を分析・再整理する。</li> </ul> </li> <li>・その他(特許等を保有している場合の参照情報) 特になし</li> </ul>	